



インフルエンザワクチンについて



令和6年10月から、鼻に噴霧するタイプの新しいインフルエンザワクチンが登場しました。今までの注射するタイプのワクチンと比べて何が違うか、表にまとめてみました。ご一読いただき、特に「接種を控える人」の部分はしっかり確認の上、ご希望される方のワクチンをお伝えください。問診票をお渡しいたします。

	フルミスト（経鼻生ワクチン）	従来のワクチン（注射不活化）
メリット	・ 痛くない ・ 1回の接種で終了 ・ 多少の鼻水はOK	・ 日本での予想流行株で作成 ・ 使い慣れている ・ 生後6ヶ月から成人まで可能 ・ 流通量はしっかり確保
デメリット	・ インフルエンザ様症状がでることがある（1～10%） ・ 2歳～18歳と年齢制限あり	・ 痛い ・ 12歳までは基本的に2回接種 ・ 時に注射による腕の腫れ
予防効果	同等	
コスト	8,000 円／回	3,930 円／回
他の予防接種との同時接種	可能	
接種を控える人	・ 気管支喘息 ・ ゼラチンアレルギー ・ 免疫不全の方（ステロイド内服中など） ・ 周囲に妊婦さんがいる ・ 周囲に免疫不全者がいる	・ 重度の卵アレルギー ・ 過去にインフルエンザワクチンでアナフィラキシーあり

どちらを接種するか迷ったり悩んだりする場合は、
医師にご相談してから決めていただいても結構です。

R8 年 9 月 14 日

金沢赤十字病院 小児科

